

ルルドの丘

2015
3月
No.31



社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業所こころ

みことば

『一人ひとりに』
ちょうど太陽の光が
杉の大木と同時に
小さな花の一つひとつを
まるでこの地上には
その花しかないかのように照らすのと同じで
種も一人ひとりに
まるでその人以外誰もいないかのように
特別なところをお配りになります

聖テレーズ

きらりん

クリスマスの集い

保育士 林 直見

「クリスマスの集い」は、恵の聖母の家では3大行事の一行事として施設全体で取り組んでいます。

12月13日(土曜日)「恵の聖母の家族で集い、クリスマスをお祝いしましょう。平和を広げていきましょう」を目的として行いました。

はじめに、サンタの衣装で登場した副施設長の挨拶と歌声でクリスマスの集いが始まりました。プログラムとしては、当施設で活動している音楽クラブ(ダージリン)の演奏から始まり、指揮者に合わせてリコーダー、木琴、小太鼓、ヴィブラフォン、太鼓ツリーチャイム等、6名の利用者が、一人ひとりの機能に合った楽器を使って「栄光の架け橋」の曲を演奏しました。会場からは、利用者の自信に満ちた演奏、一生懸命な表情に感動し大きな拍手が送られました。

次にボランティアの方々による演奏です。アルゴ(アカペラ)の皆さんのクリスマスソング「きよしこのよる」「ジングルベル」など4曲を透き通るような歌声で歌っていただきました。また、臼杵ウィンドアンサンブルによる、「男はつらいよ」「サザエさん」「妖怪体操など」7曲を演奏していただき、最後に会場の皆さん(潔き聖母の家、児童発達支援センターめぐみ、保護者の方々)で、「ジングルベル」を鈴やシエカーを鳴らして演奏し、ふれあいを楽しむことができました。

恵の聖母の家のクリスマスの集いといえ



ば、聖劇です。それは、救い主イエス・キリストの誕生を再現することです。2014年も利用者、支援者と一緒になってイエスマの誕生をお祝いしました。一生を通して神様の愛を伝えたマザーテレサの語りで、わたしたちの救い主キリストの誕生の意味を教えてくださいました。利用者、託児所の子どもたち一人ひとりのもっている力を発揮して、母マリア、ヨゼフ、大天使ガブリエル、羊飼いの宿屋、博士とそれぞれが役になりきり、一体となった演技に会場からは、大きな拍手が湧き、平和と愛の一時に感動しました。保護者や支援者などからも、「とても素晴らしかった」と感想をいただき、皆さんの心に響く聖劇となりました。

このクリスマスの集いに参加した利用者・保護者・ボランティア・潔き聖母の家の皆さん、地域の方々に感謝いたします。今後もクリスマスの集いで、皆さんと一緒にイエスマの誕生をお祝いし、ともに世界の平和をお祈りしたいと思います。



※表紙写真は新しくなった訓練棟とスタッフ一同です。

▼写真は白杵の山に昇った初日の出です。

巻頭言

施設長

佐藤

圭右

小児科では、心臓病や腎臓病、喘息のお子さんなどに、学校生活管理指導表というものを書くことがあります。これは、体への負担がある学校生活、例えば、体育は、〇〇の運動はしてよいけど、××はできません、とか、文化的活動でも、リズムの早い楽曲の演奏は控えましょうなど、細かに制限するものです。それ以外にも、医師は旅行などの制限を患者さんに指導することも少なくありません。さらには、精神科の医師では、精神保健指定医という資格は必要ですが、患者に入院を強制させたり、身体的拘束を含む行動制限を行わざるを得ない場合に行つことまでできます。

これらは、「予測される危険」に対して、その危険を回避するために行われるものです。では、この予測される危険とは何でしょうか？

よく、テレビドラマで危篤状態の患者さんがいるときに、「ピピピッ」と音がして、心電図の波形がテレビのようなものの画面に出ている風景を見たことがあると思います。あの装置は生体情報モニタと言います。その場合の危険とは、心臓や呼吸が止まるかもしれない、という危険です。

ただ、これは、すべての入院患者さんに装着されているわけではないですよ。それは、入院患者さんすべてが急に容態が変

わる（急変する）と予想されるわけではないからです。もちろん、入院中の食事をのどに詰まらせて、とか、突然心筋梗塞に、など起こりえないわけではありません。しかし、それは事前に問診などで危ないと思われる人以外にとっては予測できない危険であり、そこまで予測して生体情報モニタなどを全員に装着するのは意味がないですよ。

これは、私たちの施設、病院でも同じことです。確かに、入所している重症児者の皆さんは、障がいのない皆さんに比べて、いろいろな困りがあります。中には、自分で十分な呼吸ができないために、人工呼吸器の力を借りて息をしている人たちもいます。その人たちは、ひよつとして、人工呼吸器が外れたらとか、故障したら、など考えると命の危険がありますので、生体情報モニタを装着してもらっています。しかし、それ以外の多くの皆さんは、その人なりに状態も安定していますので、命の危険を伴うようなことが今すぐに起こりうるとは考えにくいと思っています。

☆

☆

重症児者は、命の危険があるので、外出などは控えましょう、など、ひよつとするとこれまで聞いたことがあるかもしれません。確かにいろいろな危険を避けるために

は、室内のベッド上で動かさなければいいでしょう。動かさなければ、骨折など事故が起こることもないでしょう（もちろん、おむつ交換時などには起こり得るかもしれませんが）。けど、それでその人の生活は十分なのでしょうか。

自分の存知上げている患者さんは、在宅で人工呼吸器を付けています。他の人から見ると反応はないようですが、お母さんには通じるものがあるようです。その患者さんは、お母さんに連れられて、よく県外まで出かけており、自分には事後に報告がありました。ある時は飛行機まで乗るつと考えられたそうですが、呼吸器を載せるときには医師の診断書などが必要なようで、そこまではできなかったそうです。

どこに危険があるのか、そして、どうすればその危険を回避できるのか。

制限をするだけなら、誰でもできます。私たち医師は、患者さん個々を診ていき、障がいを持たない人と同じように、遊んだり、勉強したり、旅行したりする（社会参加をする）ために、どこに気を付け、どのような工夫が必要か、考えていくべきではないかと自分は考えます。

もちろん、これは自分だけで行つべきものでなく、保護者の皆さんと気持ちを擦り合わせながら行つべきで、保護者の皆さんが、なるべく危険は回避したい、と考えられれば、施設内で安静にするべきかもしれません。

一緒に考えていければと思います。



▼各部署の声です。今年の目標は「一体感」です。

医局

産業医の仕事等

副施設長 田中 達二郎

当施設に着任して7年目になります。労働安全委員会に所属しています。毎年数回の産業医講習会の受講と討論会に参加しています。最近の議題は主に勤務者のメンタルヘルスケアになっており、職場でのパワハラ、セクハラ等が原因となり、長期欠勤又は退職或は精神科通院も多くなっています。最悪の場合はうつ病となり自殺に至る例もあり、医師会から自殺予防マニュアルが配布される程です。

労働安全の仕事は職員の健康管理と危険防止だと思っております。毎年行われる健康診断の結果を総括し、個々の異常値の方に生活習慣の改善及び薬物治療を勧めています。集計では貧血、高脂血症、高血圧、尿潜血陽性の方が多いです。

メンタル面での不調による長期欠席者が少ないのは、よい事だと思っております。職場の危険防止については、年に2回、病棟見回りをして、危険箇所が見付ければ改善を指導しています。

次に医療安全管理委員会、感染防止委員会について。医療安全ではリスク委員会の方からヒヤリハット、事故報告があり、皆さんの意見を聴いています。投票に関する件が一番多く、その他、転倒、外傷、チューブ類、食事関係、伝達接遇等が報告されます。

感染防止委員会では、インフルエンザ、ノロウイルス等の予防、菅根先生による抗生剤使用状況、大分県感染症発生動向調査の報告、次いで検査課茂田さんによる細菌

検出報告を受けています。又、給食会議のメンバーにもなっています。利用者さん一人ひとりに合わせて献立、調理法を考えるのは大変な仕事だと思います。最近はお弁当、ランチバイキング等に力を入れていく様です。

最近では訓練課のリハビリ前の診察に行く事が多くなりました。管理棟から最大7回往復すると可成り歩く事になります。

その他、月に1回、潔き聖母の家に行き、病棟見回りをしています。恵と違って独特の雰囲気があります。年に1回は全員の診察をしています。又、職員の方への講話もしています。

私は恵にお世話になる前は、佐賀市で約40年間医院を開業していました。只一つの自慢は病気が事故で1日も休まなかった事です。唯一痔の手術も外科医の従弟に盆休みにやってもらいました。日航機事故のテレビを病室で見たのを思い出します。

開業初期に診察した幼児が現在、県立病院の部長をしています。感無量です。恵に着任当時はシスター平野さんと検査科渋谷さん等が私より年上でしたが、現在は宮縄の平山さんと私が最年長となりました。若い職場の老害にならぬ様頑張りますので、よろしくお願ひします。

あげた点があれば自分では気付きませんので教えて下さい。但し、都合により上げた振りをしている場合もあるかも知れません。

看護課

山に登って

看護助手 神品 康代

去年、久住の山に登った。きつかけは、人に誘われたことだった。中学生で山に登った時に、意外と楽しかったので、誘われた時、軽い気持ちで「行く」と返事をした。

当日はよく晴れて、絶好の登山日和だった。少しワクワクとした気持ちで、長く続く急な階段を登り始めた。けれども、すぐに後悔した。登り始めて間もなく、息があがり、心臓がバクバクとして息苦しくなった。「もう帰りたい」と下を向いて歩いていたら、一緒に来たメンバーが足を止めて待っていてくれた。少し元気が出て、もう少し歩ける気がした。ふと振り返ると建物が小さく見えた。自分の足でいつの間にか高い所まで歩いて来れたことが嬉しくて、また歩き始めた。山の道は足場が悪かったり、岩の間を登ったりできついけれど、スリルがあつて面白かった。途中、見かけたことがない植物もあつて楽しかった。

山頂に登った時は息があがつて苦しかったけれど、つらくはなかった。むしろ清々しかった。山頂は岩ばかりで、植物も少なく殺伐として自然の厳しさを感じた。しかし、山頂から見る景色はとても綺麗だった。空気が冷たく澄み、空は青く、いつもより近かった。自分の足もとに小さくかすんで見える建物などを見ていたら、気持ち軽くなっていく。大きく息を吸うと冷たい空気が胸を満たし、

少し苦しかった。体の疲れとは逆に気持ち軽く晴れ晴れとして、明るく穏やかになった。山頂で食べたご飯は、とても美味しかった。皆で飲んだコーヒーは心まで温かくなった。また山登りをしたくなった。近々行く予定です。





生活課
福祉

カラオケクラブ

介護福祉士 亀井 洋子

突然ですが皆さんは、「カラオケは好きですか?」音楽は聴くだけではなく声を出して歌う事で、ストレス解消に効果があるといわれています。また、カラオケには脳の活性化や、ボケ防止、大きな声(強弱)を出すことでダイエットの効果もあるといわれています。

さらには、歌っている時、歌詞のイメージを思い浮かべながら歌ったり、フリを交えたりして自分の好む歌をうたうことで、脳のトレーニングにもなるそうです。楽しみながら出来る健康法ともいえるのではないのでしょうか。

さて、当施設ではカラオケクラブが発足して早5年を迎えました。現在男性1名、女性5名で毎月1回のペースで行っています。メンバーの方々も毎回、演歌や童謡、ポップスなどさまざまなジャンルの歌を選曲して参加しています。活動の様子ですが、メロディがかかると、雰囲気を感じ取り、声を出す方や、強弱、抑揚をつけ、ちょっとしたフリを取り入れるなどして気持ちよく歌っています。

今までメンバーの方々はグループで歌うことはあっても、大勢の前(施設外)で歌う機会がありませんでした。そんな中、昨年11月に潔き聖母の家の文化祭で行われたカラオケ大会に参加することができました。曲は皆さんが知っているテンポの良い氷川きよしの「ゴンドコ節」に決めました。発表会までは短い期間でしたが、メンバー

の方々は何度も練習をしました。当日の衣装は、金色のベストに蝶ネクタイをし、気持ち一つにして参加しました。しかし、いつもと違う雰囲気緊張している方のドキドキ感が付き添う支援者にもつたわってきます。「大丈夫です。いつもどおり、楽しく歌いましょう」とみんなで声をかけ合いました。ステージ上からはたくさんのお客様が見えましたが、徐々に緊張も和らいだのかその後は、元氣よく堂々と自己紹介と挨拶をしました。イントロが流れ始めると今までの練習の成果を発揮させ、しっかりと声を出し、歌いあげることができました。観客席からは応援の掛け声や、手拍子の音、見知った人たちの笑顔がみえました。大きな舞台を初めて体験したメンバーの方々も満足した表情を浮かべていました。

歌うことで、「心も体もリフレッシュ」これもカラオケがもたらす効果なのかもしれません。

今後も、カラオケクラブの活動を通してキドキヤ、ワクワクが少しでも感じていただけるような環境を提供できるように頑張りたいと思います。



訓練課

ふりかえって

作業療法士 岐部 なつ美

昨年1年を振り返ると、自分自身の環境がガラリと変わった1年でした。

まず、学生から社会人となったことです。恵の聖母の家に就職し、多くの利用者の方、職員の方々に出会い、今まで学校という小さな枠の中にいた私には驚く事考えさせられる事の連続の日々でした。利用者の方とは訓練を通してカード作りや絵画など様々な作品を作り、ストレッチや散歩などを通して多くの関わりを持つことが出来ました。一人ひとりの関わり方を自分で考え、いく事にも戸惑いや苦悩もありました。

それでも多くの訓練課の先輩方や病棟の方々に助けていただきながらこの1年を何とか勤める事が出来たように思います。まだまだ未熟で訓練課の先輩方には遠く及びませんが、少しでも近づける様に、そして利用者様の生活がもっとより良いものになるよう今年も頑張っていきたいと思えます。

仕事面での振り返りはここまで、昨年もう一つ振り返りたいことがあります。それは、高校の頃やっていた「マーチング」を社会人バンドに入り始めたことです。専門学生の時にその団体に1年だけ在籍していました。しかし、実習や国家試験と忙しくなり一旦退団していたのですが、昨年の春から復帰し日曜祝日は練習に明け暮れる日々でした。楽器は音楽クラブのメンバーが使用しているヴィブラフォン(鉄琴)です。夏から本格的な練習に入ってきて仕事との両立が大変でした。何がきついかと言

えば、練習場所が別府である事です。移動時間も演奏曲を聴いて1時間弱かけて向かっていました。そのかいあってかなくってか、10月の九州予選を勝ち抜き、九州代表として12月に全国大会にも出場できました。なかなか大会では思ったような成績は出せませんでした。が、とてもいい経験をさせてもらいました。また、4月になれば高校を卒業した新入団員が入り、団の発表会もあるのでそちらの練習と仕事の両立しつつまた来シーズンに向けて頑張っていきたいと思っています。

振り返りになっているのかと思われてしまいそうなお拙い文章で申し訳ありません。これからも作業療法士として、一演奏者として頑張っていきたいと思います。これからも皆さんどうぞよろしくお願いします。



2014年10月22日(水)
ランチバイキング

あゆみの広場・のぞみの丘の入所の方を中心にランチバイキングを開きました。ランチバイキングには、「メニューを自分で選ぶ喜びを感じ、食事の楽しみをいつもとは違う形で楽しんでいただきたい」との職員の思いが込められた会食です。入所の方もメニューを選びながら、美味しいランチとなりました。

2014年11月9日(日)
桜の実少年少女合唱団
ふれあいコンサート



午後から交流ホームで開かれ、桜の実少年少女合唱団の皆さんが美しい歌を聴かせてくれました。【プログラム】第一部「秋の歌」ふるさと／もみじ／荒城の月／虫の声／赤とんぼ／汽船ぽっぽ／かわいい魚屋さん／証城寺の狸囃子／お猿のかごや／村祭り
第二部「みんなで、楽しく、うたいましょう」
第三部「なつかしの抒情歌」瀬戸の花嫁／いい日旅立ち／川の流れるように／てんとと虫のサンバ／与作／お祭りマンボ／扇子踊り

第二部では合唱団の方々が舞台から降りて、観客の手をとって触れ合いながら歌を聴かせてくれました。曲中の振り付けはみんなで考えたオリジナルとのこと。来場された方もとても元気になる公演でした。次回も楽しみにしています。ありがとうございました。

2014年12月13日(土)
クリスマスの集い



午後からクリスマス集い、を開きました。施設の挨拶では、副団長がサンタクロースに扮して、WHITE CHRISTMAS をアカペラで歌って、会場が一気にクリスマスの雰囲気となりました。オープニングでは入所者のチェリズが、世界に一つだけの花、を演奏しました。力いっぱいの演奏に会場も引き込まれていました。続いて登場のアカペラのグループ「alco」。さまはドリカムのLove love love、そして臼杵ウィンドアンサンブルの皆さまのサザエさん等、親しみのある曲で楽しみました。そして聖劇を通してお祈りを捧げました。

2014年12月19日(土)
お餅つき



一年のお恵みの感謝と来る年に願いを込めてお餅つきをしました。毎年、臼と杵を使った昔ながらの形で行っています。8時から庭で窯を設置し、蒸しあがったら餅つきを行い、つきあがるスタッフの方で丸めて

いきました。入所の方も餅つきを行って、おいしくつきあがりました。つきあがったやわらかいお餅にしょう油やきな粉をつけていただき、入所の方もおいしそうな笑顔を見せてくれました。

ご寄附 (12月)



臼杵市社会福祉協議会さまからお花（ポインセチアとシワラーメン）をいただき、早速、玄関や各部署に飾らせていただきました。室内がとても華やかになりました。社会福祉協議会さま、ありがとうございました。

2014年12月25日(木)
クリスマス・ミサ



地域交流ホームで潔き聖母の家、そして地域の方々とともにゴミサを行い、クリスマスを祝いしました。ゴミサの前には職員がトーンチャイムでやさしくこの夜を演奏し、託児所の子どもたちを中心にキャンドルサービスを行いました。

神父さまが聖書の「光」と「闇」の言葉を用いて、「苦しい時こそ光に気づくことが大事」とのお話を下さいました。「悩みがある時は闇の中にいるように感じます。この闇は自分の欠点や孤独でもあり、この欠点はなおせないこともあります。そんな時、自分のことを忘れて祈る人の姿に光を感じることでできると思います。相手のことを思うこと、愛を伝えることで人はよりよく生きていけるのではと思います。苦しい時こそ、光に気づくことが大切になると思います」と話して下さいました。

2015年1月
正月行事



元旦は、この1年間、災いを避け、元気に過ごせるように、福が来るようにお屠蘇をいただきました。お屠蘇に顔をしかめる方もいましたが、味わっている方もいました。また、羊年に合わせて、みんな元気に過ごせるようにスタッフが背中に「ひ」「つ」「じ」の文字をつけて、「ひろい心で」「つつしみ深く」「地道に歩もう」とメッセージを伝えて各部屋をまわりました。

2015年1月6日(火)
勤続10年・20年表彰



社会福祉法人聖母の騎士会恵の聖母の家職員として10年間、20年にわたり、愛と誠実をもって職務に専念し、身体障がい者の福祉向上に大きく貢献された職員に対して表彰を行いました。これからもどうぞよろしくお願ひします。

2014年10月23日(木)
マルシヨク臼杵店 (5名)



ドライブが好きな方は、車内で笑顔を見せられて気分良くしていました。買い物では、日頃は触れるのが苦手な方も服を身体に合わせる時に嫌がらなかつたり、逆に周囲が気になった方がいたり…。あらかじめ買うものを決めていた方は、好きなもの嫌いなものをはっきりと支援者に伝えて、真剣な表情で時間ぎりぎりまで買い物をしていました。眠そうな方もいましたが、関わりの中で目を覚まし、日常とは違う様子もよく見られた買い物となりました。関係者の皆さま、ありがとうございました。

2014年10月30日(木)
明野アクロス (6名)



7月実施予定が台風のため中止となり、予備日に実施しました。休憩室もお借りすることができ、安心して活動に入ることができました。ご家族の参加もあり、ずっと両親の顔を見て過ごされた方、服選びでは真剣な表情や笑顔、いろいろな表情を見せてくれた方、日頃と同じように周囲の方に元気に声かけながら過ごされた方、前から楽しみにしていて、光る商品に興味を持ちたり、商品の服を身体にあてられると本当に嬉しそうなお表情を見せてくれた方、自分で触って商品を選ぶ時に笑い声を聴かせてくれた方もいました。昼食も予約によりスムーズにでき、思い思いに楽しんで過ごすことができました。関係者の皆さま、ありがとうございました。

2014年11月5日(水)
室内レク (3名)



「リフレッシュを図る」を目的に、外出活動が困難な方を対象にあゆみの広場のテラスを使って活動を行いました。活動内容は、季節に合わせてスノードームの制作です。雰囲気も大事にしたいので、BGMや装飾を用いてクリスマスが感じられるように努めました。制作過程で参加者は作品を示されるとじっと見つめてくれて、穏やかな表情や声を聴かせてくれました。※できあがったスノードームはルルドの丘30号の巻頭言の背景写真として掲載しました。

2014年11月15日(土)
ときめき作品展



「障がい者・児の自主的な芸術・文化に対する取り組みを支援し、その成果の発表の機会を設けることにより、障がい者・児の文化活動によせる一層の意欲の向上とより自発的な社会参加の促進を図る」を目的とした「ときめき作品展」が大分市アートプラザで開催されました。当施設入所者もとんとんクラブで制作した作品や絵画、写真等を出展しており、自分たちの作品に対する来場者の感想や他の方の作品に触れてきました。自分の作品を見つけて、「あー! あった!」と指をさし、記念写真を撮って喜ばれた方、真剣な表情で作品を見つめる方とさまざま、これからの創作意欲につながっていました。

2014年12月7日(日)
吉四六の里 第10回
歳末たすけあい
チャリティーショー



臼杵市社会福祉協議会主催により野津町中央公民館で行われ、車椅子ダンスグループ「スマイリーズ」が、お恋のパカンス、お恋するフォーチュンクッキーを披露しました。ステージの上で少し緊張した様子もみられましたが雰囲気にも徐々に慣れて、お恋するフォーチュンクッキーでは広がっていくスカイパルーンに手を伸ばしたりして楽しみながらダンスができました。会場は満員で、会場から拍手をいただき、一体感を感じながらダンスをすることができました。会場にいられたメンバーのご家族から花束もいただき、とても充実感のある時間となりました。ご来場いただいた皆さま、また関係者の皆さま、ありがとうございました。

2014年12月13日(土)
平成26年度臼杵市人権
作品表彰式



「友達と明るく思って手をつなぐ」平成26年度の人権作品(標語)に当施設入所者が応募し、見事、市長賞を受賞しました。表彰式は臼杵市観光プラザで行われ、臼杵市長からお祝いのお言葉をいただくと、緊張があったものの、しっかりと感謝の言葉を返していました。帰りの車内では緊張もほぐれ、笑顔がたくさん見られました。来年も応募して賞をもらいたいと、早くも意欲をみせていました。



相談支援事業所こころ

所長 井上 勝巳

障害者自立支援法から障害者総合支援法など制度改正が実施される昨今、平成24年4月から障害福祉サービスを利用する際に「サービス等利用計画」の作成が義務となりました。当然、施設入所の方々もこのサービス等利用計画を出身所在地福祉事務所へ提出することとなります。

このサービス等利用計画におきましては、恵の聖母の家人所者（療養介護）は97%の達成。潔き聖母の家（生活介護）においては100%達成いたしました。また、在宅の方々の計画作成も随時実施しています。これもひとえに、関係者皆様のご理解とご協力のたまものだと感謝いたします。このサービス等利用計画の実施につきましては、平成24年4月から平成26年3月末までの三年間で計画作成を終了しなければならないことになっていました。全国的にみても体制整備にバラつきがあり完全実施には程遠い状況といわれています。計画相談支援等の体制整備を進めるために、各市区町村の相談支援専門員の養成や事業所の確保。状況集約に応じた市区町村の障害担当職員が相談支援専門員が作成するサービス等利用計画と同等のものを作成するといった通達も実施されているところでもあります。

今後、障害福祉計画（体制整備）に向けて、質の高いサービス等利用計画が求められることとなりそうです。当事業所ではさらなる推進を図り、「障害福祉サービス」を利用する方々が安心して生活できる地域づくりを推進できればと考えています。今後ともよろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

センターめぐみより

児童発達支援管理責任者 丸山 久幸

平成26年9月以降のセンターめぐみの様子をお知らせします。

9月13日

「家族の日 ファミリー・フェスティバル」

フェスティバルは、ボランティアの皆さんによるバールンアートで始まりました。何を作っているかを当てるコーナーもあり、センター利用者も元気よく手を上げて正解を答え、次々とバールンを手にしていました。とても嬉しそうでした。後半は各部門の催しで、センターはカラオケの部にみんなで出場しました。曲は、会いかけた（AKB）です。ふなっしー（？）も登場し、場を盛り上げましたが、利用者も声を出して歌うことができ、歌唱的にも演劇的にも力を出せた「家族の日」になりました。

10月31日

「ハロウィンパーティー」

10月というハロウィン…ということで、みんなで仮装してハロウィンパーティーを開きました。衣装はディズニーのピーターパンを中心に仮装しました。レクリエーションでは、秋の歌やトゲゲの鬼太郎の曲を聴きながら車椅子ダンスを行いました。身体の揺れはみんな好きで、仮装していることもあってか、いつもよりも楽しんでいる様子が見られました。



12月1日

「クリスマスツリー装飾」

待降節に合わせてツリー装飾を行いました。きれいな飾りに利用者も見入っていました。またスタッフから、ご自宅で使用していたトナカイ（イルミネーション）の寄贈があり、例年以上に華やかな雰囲気になりました。ツリーは、クリスマスの集いでも会場に設置したので多くの方にご覧いただけたと思います。

12月13日

「クリスマス・パーティー」

利用者、ご家族と一緒にパーティーを開きました。お手玉アートでゲームを行いました。みんなのお目当てはやっぱりサンタさんだったようです。登場するとても喜んでいました。一人ひとり名前を呼ばれてプレゼントが渡されました。名前を呼ばれるのが待ち遠しい様子がありました。

12月22日

「年賀状書き」

新年のご挨拶をみんなで作りました。2015年の干支は羊です。利用者各自が自分の力でできるように、羊のモコモコ感、ステンシルとスタンプを用いて作りました。またペンで色付けができる方は、一生懸命に色を塗ったり、文章を書いてくれました。優しくあったかい羊ができあがりました。年賀状は利用者の関係者にお送りしました。

平成27年1月

「正月遊び」

センター駐車場の方では凧揚げ、室内では羽根つきを行いました。凧揚げでは風の向きに悪戦苦闘している支援者をみんなで応援しました。利用者は時間になってもまだまだ楽しみたい様子でした。





家政 子育てと仕事

家政 川野 明美

恵の聖母の家で働くようになって19年経ちました。今までいろいろなことがありましたが、あつという間の19年だったと思います。

今思えば、子どもを育てるため、生活のためと必死でした。子どもが病気で熱があっても仕事を休めずに、家に子どもを1人残して、仕事の休憩時間に家に帰り、子どもの様子をみるといつともありません。子どもは職場に電話をよくかけてきて、何時に帰るのか聞いていました。きつと、さみしい思いをしていました。

そのようにして育ってきた子どもも高校生の時に介護福祉士の資格を取るため、恵の聖母の家の病棟に実習に来たことがありますが、重度の障がいのある方々に接することとは初めてだったので、家では「大変だなあ」とか、食事の介助では「どういつふうにしているの?」と聞いてくれたこともありました。ただ、資格は取ったものの、現在は福祉とは関係のない他の職に就いて頑張っています。

就職して数か月、子どもも頑張り過ぎたのか、昨年8月、9月と同じ病気で入院することがありました。その時も私は休みでなかったために仕事に来ていました。今までとは違う症状を子どもが言っていたのですが、職員も少なく、他の人に迷惑をかけられないと思いが、子どものことも心配でしたが…。



い仕事ですが、ゴールデンウィークの時等、子どもが休みの日に連休を組んで日帰りで遊びに行ったりもしています。また、母の姉が大阪にいますので、母に連れて行ってもらったり、母が勤めている会社のOB会に入れてもらって旅行をさせてもらったこともありました。そんな時の子どもはとても喜んでいました。

そんな子どもも24歳です。いくつになっても子どものことは気になりますが、これからは自分なりに自分の人生も楽しみたいと思います。

用務

用務のお仕事とお話

職員 一同

今、用務は業務を5人でしています。一人ひとりの年齢層も幅広い年齢層で頑張っているところです。朝は事務所の朝礼に出て、その後はそれぞれ医局や管理棟に分かれて掃除に入ります。そして病棟の掃除に移っています。他にも訓練棟のトイレの掃除、室外では草取りとけっこう、あちこちで仕事をしています。

他に花や野菜も育てています。花は宮織の前やルルドの丘に上がる道に沿って育てています。季節になり、芝桜が咲くととても嬉しく感じます。

野菜は夏であれば待合室の窓の外に用意されるグリーンカーテンで育てています。育った野菜は施設の関係者に配って喜んでいただいています。冬場は同じ場所に白菜を育て、収穫後は栄養課に届けています。白菜が無くなったのを見て気になって質問してくる職員もいます。全て無農薬です。栽培するものはリクエストして挑戦してみたいと思っています。種や苗は職場で買っています。花の場合は、その年にできた種をとっておいて、その時期にまいています。そうしているのです。咲いた時は本当に喜びいっぱいです。

野菜と花を育てていますが、やはり花は良いなと思っています。それは園内で使えるからです。お手洗いや窓口に飾ることが出来ます。育ててみたい花もあるのですが、予算もあるのど気を遣うところです。職員や保護者の中には苗を下さる方もいます。

本場に助かります。ただ、失敗もあります。一昨年でしたか、かぼちゃを育てたら葉っぱが大きくなり陽が届かず土地もできていないよつで、だめになったことがあります。栄養面が課題だったようです。その点二カウリは良いと思います。栄養もありますね。自宅でも花や野菜は育てています。農業なので、ベテランになりました。いつ、何を植えるか、肥料は何かとか、私達もはじめはお姑さんから習って、今では年も重ね、要領も良くなって、作った楽しみを味わえています。やはり、自分で作って採ったものは楽しいですね。

夕方の時間は病棟に入って、入所者の食事介助をしています。和やかな雰囲気となるように気をつけています。例えば「嵐」が好きな方には、メンバーの写真をみせてもらって「あら、男前だ」とか「誰が好き」という話でかなり盛り上がります。ただ私たちの時代は演歌だったので、キスマイツーとかになると誰が誰かわからなくなり、話についていくだけでやつとです。

年3回の施設行事やルルド祭の準備にも加わっています。ベテラン揃いなので、12月の餅つきでお餅を丸めるのは「待ってましたっ」という感じです。仕事でも冗談を話しつつ、日々の健康に注意し、楽しく行っています。

さて、今年目標ですが、みんなの期待にそえるようにしたいと思っています。私たちに何か用がある時は声をかけて下さい。



センターを利用しはじめて

生活介護でセンターに通い始めて、1年4か月程になります。県外から転入してすぐに通える事業所を探しましたが、医療行為が必要な為、常時看護師さんが居る事が必須条件となり、受け入れて下さったのが「恵の聖母の家」でした。

最初は自宅から距離があり、週に2日しか行けない、後は自宅で過ごすしかないのかと、以前の生活と違うサイクルになる事に戸惑いながらも、幸いな事に、恵では、内科、小児科、PT訓練、福祉用具等の申請や修理の対応をして頂けるということで、車で50分程かかりますが、通う決心をしました。

センター初日利用は、本人の持前のひょうきんさと大きい声でハイと返事をする自己アピールで皆さんに声かけして頂き、うれしそうなお表情を見せてくれて、私もひと安心しました。

ただ、私が必要以上に不安や心配事を抱えてしまうので、スタッフの方々には色々とお願ひばかりしてきましたが、いつも一つひとつ丁寧に対応して頂き、少しずつ不安も解消され、また、彼に対しても気持ちよく過ごせるようにと、色々とお心づかいして頂く内に、彼もセンターに行く日が楽しみのような感じになりました。私もいつも笑顔で送迎車を見送っていました。しかし、少しずつ病気の進行があり、去年の夏から人工呼吸器を夜間装着する事になり、体力的にも外出や活動に支障が出始めて、常に吸引の処置が必要になってきました。私も慣れない間は、彼の苦しそうな顔を見ると、泣けてきましたが、生命に関わる事と思うと必死でした。

呼吸器をつけてからは、夜、心の休まる日はほとんどありませんが、彼が少しずつ元気を取り戻し、大きい声が出るようになると、本当に安心しました。進行していく症状をきちんと受け止めて対処していく為に、先生や看護師さんに病気に関しての質問や相談を私は思いつづまわしていましたが、いつも熱心に答えて頂き、スタッフの方のご協力にも助けられ、今迄一人で思い悩む事が多かったものが、随分心を軽くして頂いている事にとっても有難く感謝しています。

送迎は現在、週3回私が行っています。センターでの様子も見せて頂いたり、PT訓練も色々ご指導頂いて勉強になります。自宅で悩んだ事は看護師さんにすぐに相談して解決して頂け、私も限られた時間を好きなように使える事でリフレッシュできます。送迎も寝不足を除けばとても有意義な時間を頂けています。また、最近はショートステイを利用し、病棟の方との関わりを深めています。彼の精神的成長もみられています。

この20年間、私達は本当にたくさんの方々に関わって頂き、たくさんのご協力と支援を頂く事で、今日まで頑張ってきたと感謝しています。これからもまだ今の生活は続きます。感謝の心を忘れずに、親子で笑顔で頑張っていきたいと思います。(今回は保護者のご希望で匿名とさせていただきます)



支援学校から

大分県立臼杵支援学校 教諭 播磨 久美子

4月から臼杵支援学校に勤務することになり、早いものでもう1年が過ぎようとしています。今年度は小学部の児童Aさんの担当になり、毎日表情いっぱいの笑顔に元気をもらいながら楽しく活動しています。Aさんは毎月、恵の聖母の家のショートステイやデイサービスを利用しており、Aさんにとって「恵の聖母の家」は家庭・学校と同じく生活の中で長い時間を過ごす大切な場所のひとつです。

私がAさんと出会って間もない頃、摂食の難しさや身体の動きについての課題を実感した際に、ショートステイでの生活や訓練で取り組んでいる内容を見学させてもらえる機会を頂きました。食事の量や摂食の様子、身体の動きについて、職員の皆さんには、丁寧に専門性と安全への配慮をふまえたアドバイスを頂きました。同じ子どもに関わる人が学校以外にも多く存在することを実感し、学校生活の充実の為に快く協力して下さる姿勢に、心強さと有り難い気持ちでいっぱいになりました。また、職員の皆さんに話しかけると嬉しそうに笑顔を見せる姿に、Aさんが時間をかけて築いてきた職員の方々との温かい繋がりを感じたのも印象的でした。

先日、訪問教育学級の始業式に参加しました。本校に在籍する児童だけでなく、大勢の方々が教室に集まり、温かく賑やかに三学期の始まりを迎えて下さる雰囲気、思わず胸が熱くなりました。

学校では、ショートステイ明けによく「恵の聖母の家」での出来事を尋ねます。知っている職員さんの名前を出すとパツと表情が明るくなり、Aさんの過ごした楽しい出来事が思い浮かべられます。これからはAさんが楽しく笑い多い時間を過ごせるよう連携及び支援をよろしくお願いします。



★ぴかぴかぴかぴかぴかぴか★

新しく入られたスタッフをご紹介します。①お名前 ②職種 ③お住まい ④趣味 ⑤一言

- ①牧野可愛 (まきの かあい) さん
- ②看護師 ③大分市 ④手芸とB'zの大ファンです。
- ⑤入職して2か月が経ちました。初心を忘れず、一生懸命頑張ります。

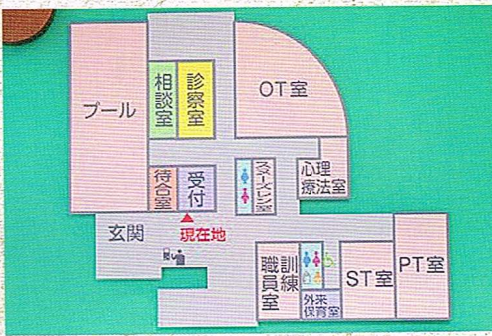


皆さんに少しでも近づいて看護していきますので、よろしくお願いします。

- ①甲斐容子 (かい ようこ) さん
- ②看護師 ③野津町 ④読書です。
- ⑤慣れないことばかりですが、頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



- ①窪田あけみ (くぼた あけみ) さん
- ②センター看護師 ③豊後大野市
- ④花を育てることと読書です。
- ⑤在宅療養者さんの応援や支援がしたいと思います。よろしくお願いします。



訓練棟ご紹介

2014年8月から増改築工事を行っていただきました訓練棟が今年2月に無事完成致しました。日頃から、訓練あるいは通所等でご利用いただいている利用者の皆さまには工事期間、大変ご迷惑をおかけ致しました。新しくなった訓練棟は、より皆さまがご利用しやすくなることを第一に考えて作られています。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

人事

▼新規採用

2014年
12月1日付

看護師 牧野 可愛

看護師 小林 和佳代

2015年
1月1日付

看護師 甲斐 容子

児童発達支援センターめぐみ

看護師 窪田 あけみ

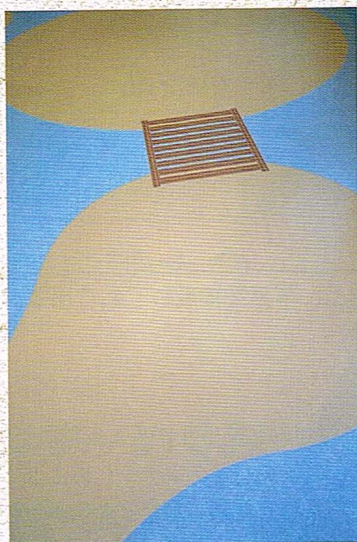
▼退職

2014年
12月31日付

薬剤師 伊賀 津與繁

2月28日付

看護師 小林 和佳代



▼患の聖母の家ではフェイスブックを開設しています。ボランティアの方々による公演の様子等、動画も含めて少しずつアップしていきますので、ご覧いただくとありがたいです。※患の聖母の家のホームページにフェイスブックのバナーを用意しています。

行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊟…個別面談
 ㊦…権利擁護・虐待防止部会 ㊧…全体朝礼 ㊨…労働安全衛生委員会
 ㊩…リスクマネジメント部会 ㊪…入浴日

2015年3月			4月			5月			6月		
1	日		1	水	㊦ ㊪	1	金	㊦ ㊪	1	月	㊪
2	月	㊪	2	木	吉四六ランド	2	土		2	火	㊦ 誕生会
3	火	㊦ ひなまつり	3	金	㊦ ㊪	3	日		3	水	㊦ ㊪
4	水	㊦ ㊪	4	土		4	月	㊪	4	木	
5	木		5	日	復活祭ごミサ	5	火	㊦	5	金	㊦ ㊪
6	金	㊦ ㊪	6	月	㊪	6	水	㊦ ㊪	6	土	
7	土		7	火	㊦ ㊨ 誕生会	7	木		7	日	
8	日		8	水	㊪	8	金	㊪	8	月	㊪
9	月	㊪	9	木	吉四六ランド	9	土		9	火	㊨
10	火	㊨	10	金	㊪	10	日	ルルド祭	10	水	㊪
11	水	㊪	11	土		11	月	㊪	11	木	
12	木		12	日		12	火	㊨ 誕生会	12	金	㊪
13	金	㊪	13	月	㊪	13	水	㊪	13	土	
14	土		14	火	㊨	14	木	臼杵石仏	14	日	
15	日	誕生会	15	水	㊪	15	金	㊪	15	月	㊪
16	月	㊪	16	木	㊩	16	土		16	火	㊨
17	火	㊨	17	金	㊪	17	日		17	水	㊪
18	水	㊪	18	土		18	月	㊪	18	木	㊩
19	木	㊩	19	日		19	火	㊨	19	金	㊪
20	金	㊪	20	月	㊪	20	水	㊪	20	土	ふれあい運動会
21	土		21	火	㊨	21	木	パークプレイス大分 ㊩	21	日	
22	日		22	水	㊪	22	金	㊪	22	月	㊪
23	月	㊪	23	木	犬飼リバーパーク	23	土		23	火	㊨ ㊟
24	火	㊨ ㊟	24	金	㊪	24	日		24	水	㊪
25	水	㊪	25	土		25	月	㊪	25	木	道の駅きよかわ
26	木		26	日		26	火	㊨ ㊟	26	金	㊪
27	金	㊪	27	月	㊪	27	水	㊪	27	土	
28	土		28	火	㊨ ㊟	28	木	臼杵石仏	28	日	
29	日		29	水		29	金	㊪	29	月	㊪
30	月	㊪	30	木		30	土		30	火	㊨
31	火					31	日				

※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。※予定変更の場合があります。

編集後記

2015 年度がいよいよ始まります。羊年の人は「人情味のある温かみを感じさせる人」「几帳面でしっかり計画と観察をする人」といわれているようです。また、羊年は過去をみると 12 年前の「冬のソナタ」のように大きなブームや不思議なめぐり合わせが起きる年ようです。皆さまにとりまして良きブームの起きる年となりますようお祈りしております☆(S・M)